

3. 2023 年度 一般社団法人日本防護服協議会 定時総会 議事録

1. 開催日時： 2023 年 6 月 27 日(火) 13：30～14：07
2. 開催場所： 台東区民会館 9 階 特別会議室（大）
3. 出席した社員の数及びその行使することができる議決権の数

| | |
|-------------------------|--|
| (1) 議決権のある当法人の 社員の総数 | 65 名 (法人会員 56 社、個人会員 9 名) |
| (2) 総社員の議決権の数 | 65 個 |
| (3) 出席社員数 | 61 名 (うち、委任状による出席 10 名、 事前議決権行使による出席 23 名) |
| (4) 出席した社員の議決権の数 | 61 個 |

4. 出席役員

代表理事 山内 正剛

業務執行理事 鈴木 一裕

理事 深須 憲哉、三橋 卓也、篠原 克明、鉄村 秀哉、加藤 正弘、上田 勝彦

監事 関口 勝美、利岡 健人

5. 議事録作成者

統括事務局 山田 彩

6. 開会宣言及び定足数の確認

13 時 30 分、司会進行役の三橋理事が開会を宣し、本日の定時総会は、定款 17 条に規定された定款所定数（総社員の議決権の過半数）を満たしているため、有効に成立した旨を告げた。

7. 議長の選任

司会進行役より、定款 第 15 条の規定により山内理事長が議長を務めることの説明があり、賛否を議場に諮ったところ、異議はなく、山内理事長が議長に選任された。

8. 議長挨拶

山内議長より開会の挨拶があった。

9. 報告事項

山内議長より、鈴木業務執行理事が指名され、鈴木業務執行理事より報告事項の説明が行われた。

1) 2022 年度事業報告

「資料 2023 総 報-1：一般社団法人日本防護服協議会 2022 年度 事業報告」に基づき総会、理事会、研究会、学術総会、TC 94/SC 13 国内審議分科委員会作業部会主査・幹事会議、各作業部会活動、ISO 会議への参加、JIS 作成への協力等について説明があった。

「資料 2023 総 報-2：事業報告の附属明細書」に基づき 2022 年度事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないとの説明があった。

JISについては、WG 3（化学防護服）3本のJIS制定・改正原案作成、WG 5（機械的作用に対する防護服）2本のJIS改正原案作成及びWG 8（防護手袋）2本のJIS制定原案作成に対する協力を行ったことの説明があった。

ISO 国際会議については、2022年9月にスイス（ヴィンタートゥール）に於いてISO/TC 94/SC 13 総会及びCAG会議、作業部会会議、プロジェクトグループ会議が開催され、現地にて又はリモートで参加し、同会議をはじめとして、アドホックなWG/PG等の国際会議へ積極的に参加した旨の説明があった。

公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）、公益財団法人日本ユニフォームセンター（NUC）、一般社団法人日本高視認性安全服研究所（JAVISA）及び当協議会（JPGA）で構成する「高視認性安全服普及委員会」活動については、これに積極的に関与し、JIS T 8127 高視認性安全服啓発パンフレットの配布等の普及・啓発活動を行ったことの説明があった。

保護具展示への協力として、産業医科大学産業生態科学研究所多目的模擬工場内に、保護具等の展示場が開設されて以降、当協議会から防護服を提供し展示協力をしているが、昨年入れ替えを行った為、2022年度は入れ替えを行わなかったと説明があった。

2) 2023年度事業計画及び予算

「資料 2023 総 報-3: 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 事業計画」が提示され、2023年度事業計画についての説明があった。

新規事業として、JISが制定・改正された際における説明会（有料）開催についても検討しているとの説明があった。

ISO 23762 について、国際規格成立に向けての作業を行い、これを補強する基礎研究についても、METI 委託事業の成果を基礎に研究を進めるとの説明があった。

本年度のISO/TC 94/SC 13 国際会議が、2023年9月10日から15日かけて長野県上田市で開催されることや、研究会、見学会、学術総会の開催、関連する学会等への協力等の各種活動予定について説明があった。

「資料 2023 総 報-4: 2023 年度収支予算書」及び「資料 2023 総 報-5: 2023 年度 収支予算書 内訳表」が提示され、説明があった。2022年度と2023年度予算の違いについて、2023年度は国際会議が信州大学で開催されるため、会議費について増額し、海外派遣費について減額した旨の説明があった。

3) 入退会の報告

「資料 2023 総 報-6: 一般社団法人日本防護服協議会 会員一覧」が提示され、入退会についての説明があった。2022年度の入会は特別会員1名、退会は法人会員2社、個人会員1名、特別会員1名であった。2023年度の入会は現時点で法人会員1社、退会は法人会員1社である。2023年度に入会した原田産業株式会社 小林 恵介様が紹介され、ご挨拶いただいた。

4) ISO/TC 94/SC 13/WG 主査及び幹事の紹介

「資料 2023 総 報-7: 2023 年度 ISO/TC 94/SC 13/WG 主査・幹事一覧」が提示され、主査及び幹事の紹介があった。WG 5 幹事が不在の為、立候補者を募集しているとの案内があった。

5) 2022 年度及び 2023 年度 ISO 投票報告

「資料 2023 総 報-8: 2022 年度国際規格回答原案一覧表」及び「資料 2023 総 報-9: 2023 年度国際規格回答原案一覧表」が提示され、2022 年度及び 2023 年度の国際規格回答原案回答実績の報告が行われた。2022 年度は 41 件の回答を行った。内訳は WG1 が 5 件、WG2 が 11 件、WG3 が 15 件、WG5 が 4 件、WG6 が 1 件、WG8 が 5 件であった。2023 年度は現時点で 22 件の回答を予定しており、内 15 件は回答済である。

10. 決議事項

【第 1 号議案 2022 年度決算の承認に関する件】

山内議長より、鈴木業務執行理事が指名され、鈴木業務執行理事より「資料 2023 総 決-1: 2022 年度貸借対照表(案)」、「資料 2023 総 決-2: 2022 年度正味財産増減計算書(案)」、「資料 2023 総 決-3: 2022 年度正味財産増減計算書(案)内訳表(案)」及び「資料 2023 総 決-4: 財務諸表に対する注記」に基づき説明があった。

資産合計は 11,691,269 円、負債合計は 70,000 円、負債及び正味財産合計は 11,691,269 円だった。経常収益計は 3,440,068 円、経常費用計は 1,531,056 円、当期経常増減額は 1,909,012 円、法人税、住民税及び事業税は 70,000 円、正味財産期末残高は 11,621,269 円だった。

次に、山内議長より、関口監事が指名され、関口監事より「資料 2023 総 決-5: 監査報告書」に基づき、監査報告が行われ、監事 2 名で計算書類の正確性及び理事の職務の執行の妥当性を監査した結果、問題がなかったこと、不正は一切認められなかったとの説明があった。

山内議長が、賛否を議場に諮ったところ、第 1 号議案は異議なく可決承認された。

【第 2 号議案 新任役員（理事）の選任に関する件】

山内議長より、2022 年 6 月に役員の改選が行われたため、次回の役員の改選は 2024 年度の定時総会となるが、期中に理事 1 名が退任を表明しているため、理事 1 名を補充する旨の説明があった。

「資料 2023 総 決-6 一般社団法人日本防護服協議会現行役員及び新任理事候補者一覧」に基づき、退任を表明している山本光学株式会社の上田 勝彦 氏に代わり、後任として、山本光学株式会社の山本 剛士 氏が推薦された。

議長が、賛否を議場に諮ったところ、第 2 号議案は満場一致で異議なく可決承認された。新任理事の山本 剛士 氏よりご挨拶があった。

以上をもって議案全部の審議及び報告が終了したので、議長は 14 時 07 分に閉会を宣した。上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した理事及び監事は次に記名押印する。

2023 年 6 月 28 日
一般社団法人日本防護服協議会